

令和7年度自衛消防活動審査会事前説明会質疑回答

質疑	回答
Q：動画と資料の審査項目に違いがあるがどちらが優先されるのか。	A：資料が優先となります。
Q：クランクに置かれているロードコーンの幅はどの程度か。	A：2 m幅です。
Q：昨年は隊名のプラカードがあったが今年はないのか。	A：ありません。
Q：腕章はいつ貸与されるのか。	A：本番当日の受付時に貸与します。
Q：審査開始前に自衛消防隊メンバーの読み上げはあるのか。	A：個人情報保護の観点から読み上げは行いません。
Q：動画だと余裕ホースがなかったが必要か。	A：検証した結果、余裕ホースはほぼ出ないため必要ありません。
Q：逃げ遅れ（係員）の位置はどこか。	A：消火器放射位置と同ライン上にいます。
Q：逃げ遅れ（係員）に対し声掛け（他の逃げ遅れ、歩けるか）した際は情報を持っているのか。	A：「他に逃げ遅れなし」「歩行可能」で統一しています。
Q：119番通報時の怪我人とは誰か。	A：逃げ遅れ（係員）です。怪我の有無は聴取の必要はありませんが、想定上怪我人として扱います。
Q：審査重点項目をホームページに掲出してほしい。	A：掲出いたします。
Q：放水を停止してノズルを地面に置くときのノズルの向きはどちらですか。	A：屋内消火栓はホース結合部で折り返して置いてください。簡易はそのまま地面に置いてください。
Q：点検報告時の指揮者と1番員の距離はどのくらいか。	A：おおむね5 m程度としますが、審査には影響しません。
Q：ホースの漏水時に使うタオル等は誰が持つのか。	A：操法上、2番員が持つことになります。
Q：2番員がホースを2回程度跨ぐ必要があると思うが問題ないか	A：必要な回数のホース跨ぎは審査に影響しません。
Q：ホースの屈折等の修正はどうするのか	A：従前どおり、2番員が修正してください。
Q：点検報告時に開始線へ戻る際は直線で戻っていいとのことだったが他にクランクを無視していいところはあるか。	A：ありません。
Q：ホースの漏水処理の動画を掲出してほしい。	A：掲出します。
Q：審査開始とタイム測定開始はベル鳴動か。	A：審査開始は隊名アナウンス後となります。タイム測定開始はベル鳴動からです。
Q：2番員のホース確保は1番員の1歩後ろか2歩後ろか。	A：1歩後ろとなります。
Q：クランクにおいてロードコーンを倒したり動かせた場合、減点されるのか。	A：係員を配置し動かないようにします。「倒す、動かす」での減点はありません。
Q：屋内消火栓のバルブ閉鎖時にホースの外側から閉鎖していたが内側からではないか。	A：どちらからでもかまいません。
Q：点検報告時の「半ば右向け右」「半ば左向け左」は必要か。	A：規律の審査項目となっています。
Q：ホース漏水処置はホースバンドでも良いか。	A：タオルを使用してください。